

環境経営活動レポート

対象期間: 令和6年1月1日～12月31日



発行日 令和7年1月16日

改訂日 令和7年2月18日

株式会社 雑用社

1組織の概要

- (1) 事業所名 株式会社雑用社
- (2) 代表者 代表取締役 木下洋介
- (3) 環境管理責任者 木村修斗
電話:03-6657-6660 FAX:03-6657-6615
- (4) 所在地 〒124-0006 東京都葛飾区堀切1-37-3
- (5) 事業内容
設立年月日 1982年1月10日
売上高 290百万円(令和6年度)
資本金 3千万円
従業員数 28人
延べ床面積 1,615㎡
事業 貨物軽自動車運送事業 再生資源回収業
遺品整理業 一般廃棄物収集運搬業
登録範囲 本社

所持車両

種別	形状	車番	用途
小型	キャブオーバ	葛飾 400 さ 23-38	運送事業
小型	キャブオーバ	葛飾 400 さ 23-51	運送事業
軽自動車	キャブオーバ	葛飾 480 り 18-67	運送事業
軽自動車	キャブオーバ	葛飾 480 り 19-03	運送事業
軽自動車	キャブオーバ	葛飾 480 り 18-72	営業
軽自動車	キャブオーバ	葛飾 480 り 18-73	営業
軽自動車	バン	葛飾 480 り 18-94	営業
軽自動車	バン	葛飾 480 り 18-96	営業
軽自動車	バン	葛飾 480 り 19-21	営業
普通	バン	葛飾 100 あ ・507	産業廃棄物
普通	バン	葛飾 100 あ ・523	産業廃棄物
小型	キャブオーバ	葛飾 400 あ ・213	産業廃棄物
小型	キャブオーバ	葛飾 400 あ ・214	産業廃棄物
小型	キャブオーバ	葛飾 400 あ ・215	産業廃棄物
小型	脱着装置付きコンテナ専用車	葛飾 400 さ 23-37	産業廃棄物
小型	脱着装置付きコンテナ専用車	葛飾 400 さ 23-71	産業廃棄物
小型	ダンプ	葛飾 400 さ 23-39	一般廃棄物
小型	ダンプ	葛飾 400 さ 23-72	一般廃棄物
軽自動車	キャブオーバ	葛飾 480 り 18-69	一般廃棄物
普通	塵芥車	葛飾 800 さ ・609	一般廃棄物
普通	塵芥車	葛飾 800 さ ・611	一般廃棄物

収集運搬の実績
収集運搬料金

865トン (産業廃棄物364トン 一般廃棄物501トン)
種類、数量、排出場所や状況によって異なります

許可証、登録証一覧

種類	管轄	許可番号	有効期限
			許可年月日
産業廃棄物	東京都	第1300045180	令和9年1月30日
			令和4年1月31日
	埼玉県	第01107045180	令和10年4月24日
			令和5年6月9日
	神奈川県	第01402045180	令和10年3月25日
			令和5年4月17日
	千葉県	第1200045180	令和9年12月11日
			令和4年12月12日
一般廃棄物	東京23区	第1108	令和8年1月31日

	管轄	品目							積み置き許可
		廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	繊維くず	紙くず	金属くず	※石綿含有産業廃棄物を含むがれき類	
産業廃棄物	東京都	○	○	○	○	○	○	○	-
	埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	-
	神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	-
	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	-
一般廃棄物	東京23区	普通ごみ							-
		廃家電							-

環境経営方針

株式会社雑用社は一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬業者として

以下5つの重点項目を掲げエコアクション21に取組み

地球環境問題の継続的改善に努める事を誓約します。

① 車の運転、整備においてはエコ運転、エコ整備を行い

燃費の向上ひいては、二酸化炭素排出量の低減に努めます。

② 事務所の電気、ガス、水道の利用量の削減に努めます。

③ 受託した廃棄物からリサイクル可能なものは回収に努めます。

④ 購入資材のグリーン購入に努めます。

⑤ 環境法規制の遵守のみにとどまらず、進んで清掃活動等を行なう

事で、地域の環境保全に貢献します。

⑥ 環境経営方針を全従業員に周知する。

制定日 令和5年12月16日
株式会社 雑用社
代表者 木下 洋介

4. 環境目標と実績

当社の環境負荷を改善へ向けて環境目標を設定した。

活動期間：2024年1月～12月

	単位	基準年 2023年1月～12月 実績値	2024年1月～12月		評価
			目標値 実績値	(削減率or増加率)	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	86,306	84,580	-2%	×
			102,860	19.18%	
ガソリン使用量の削減	ℓ	16,692	16,358	-2%	×
			18,595	11.40%	
軽油使用量の削減	ℓ	16,092	15,770	-2%	×
			18,343	13.99%	
電気使用量の削減	kWh	11,616	11,384	-2%	×
			30,420	161.88%	
都市ガスの削減	m³	382	374	-2%	×
			443	15.97%	
水道使用量の低減	m³	249	244	-2%	×
			395	58.63%	
リサイクルの促進	Ton	23.21	23.67	2%	◎
金属資源回収の促進			48.26	107.93%	
古紙回収の促進	Ton	25.95	26.47	2%	◎
			26.56	2.35%	
化学物質使用量の削減	kg	PRTR 対象物質はありません			
購入資材の グリーン購入率の向上	%	100%	100%	±0%	◎
			100%	±0%	

◎目標達成 △目標未達但し基準年より改善 ×目標未達

業務量増加に伴い各環境負荷値は上昇している。
中でも、社屋の規模が大きくなり電力の負荷が大きく増加した。
燃費の改善をより徹底して行うことによって業務対排出費の割合を低く抑える活動が必要となる。
※電力の二酸化炭素排出量は、東京電力令和6年度調整後排出係数0.376kg-CO2／kWhで算出
※グリーン購入に関しては、コピー用紙、養生テープ、ガムテープが主なもの。これらは、全て環境配慮品であった。

中期目標

	単位	基準年 2023年	2024年 目標値		2025年 目標値		2026年 目標値	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	86,306	84,580	-2%	82,854	-4%	81,128	-6%
ガソリン使用量の削減	ℓ	16,692	16,358	-2%	16,024	-4%	15,690	-6%
軽油使用量の削減	ℓ	16,092	15,770	-2%	15,448	-4%	15,126	-6%
電気使用量の削減	kWh	11,616	11,384	-2%	11,151	-4%	10,919	-6%
都市ガスの削減	m³	382	374	-2%	367	-4%	359	-6%
総排水量(または取水量)の削減	m³	249	244	-2%	239	-4%	234	-6%
リサイクルの促進金属資源回収の促進	Ton	23.21	23.67	2%	23.91	3%	24.14	4%
古紙回収の促進	Ton	25.95	26.47	2%	26.73	3%	26.99	4%
化学物質使用量の削減	kg	PRTR 対象物質はありません						
購入資材のグリーン購入率の向上	%	100	現状維持		現状維持		現状維持	

5. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度への取組

当社環境活動への理解が浸透し始め、取組がなされた。
次年度に向けてはエコドライブでの教育や社員交流を行い、意識向上を図りたい。

環境目標	取組み	結果	評価	次年度取組
自動車燃料の削減	・エコドライブについての勉強会を開く ・渋滞情報の積極的活用 ・アイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・エアコンの控え目使用 ・各車両の走行距離を集計する ・燃料添加剤	前年に比べ、作業件数の減少とドライバー作業員の増加の影響で自動車の稼働が多くなった。増加した作業員の中では新人も多く、運転中も無駄な回り道や燃費の悪い運転がしばしばあった。	△	エコドライブの徹底。配車の効率化。新人への運転教育。
電力の削減	・空調温度の適正化(暖房20℃、冷房28℃) ・節電シールの貼り付けとポスター掲示	使用電力が増加した。	△	事務所が変わった年の為、今回の値をもとに目標値を設定し、効率化できる部分や削減する部分を模索していく。
都市ガスの削減	・シールの貼り付けとポスター掲示 ・冬季は厚着してガストーブの使用を控えめにする。	使用ガス量が増加した。	△	事務所が変わった年の為、今回の値をもとに目標値を設定し、効率化できる部分や削減する部分を模索していく。
水道水使用量の低減	節水シールの貼り付けとポスター掲示	使用水道水が増加した。	△	事務所が変わった年の為、今回の値をもとに目標値を設定し、効率化できる部分や削減する部分を模索していく。
金属資源回収の促進	金属資源回収を全社員及びアルバイトに呼びかける。	金属製品の回収量が増加した。	◎	積極的な回収を新人、アルバイト含め呼びかけしていく。
古紙回収の促進	雑誌、新聞紙などの古紙資源回収を全社員及びアルバイトに呼びかける。	古紙の回収量が増加した。	◎	電子機器の普及により紙媒体は年々減少傾向にあるが、全社員に積極的な回収は呼びかけしていく。
グリーン購入	コピー用紙を再生紙利用。 ガムテープ、養生テープを増やす。	コピー用紙は、再生用紙を利用した。 ガムテープ、養生テープも環境配慮品を購入した。	◎	継続して実施。

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、訴訟等の有無

主要な法規	確認内容	評価結果
廃棄物の処理と清掃に関する法律	産業廃棄物管理票交付等状況報告書を提出	2024/5/31提出
	契約書確認	問題なし
	保管所技術基準の遵守	対象施設なし。
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	・ディーゼル車の排出ガス規制遵守	問題なし
	・アイドリングストップの励行	問題なし
家電リサイクル法	家電リサイクル券の購入	問題なし
小型家電リサイクル法	リサイクル業者に販売	問題なし
フロン排出抑制法	業務用エアコンは全て簡易点検を3カ月に一回以上行う	問題なし

環境関連法規への違反はありません。なお、関連当局よりの違反等の指摘は、過去三年間ありません。訴訟もありません。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

2024年は事務所が変わった事により、環境が変わった事で目標の数値の未達が目立った。主だった原因としては、建物が大きくなった事による使用エネルギーの増加。所在地が変わった事による移動距離の増加等が考えられる。
作業員が増えた影響としては、リサイクル資源の回収、搬出が安定し、目標値と達成する事ができた。

来年度は今回の数値をベースにし、各項目の最適化を行っていく必要がある。会社の規模も年々大きくなり、今後はさらに新人を獲得していくと予想されるため、エコアクションの教育や既存作業員への継続的な呼びかけや意識改善を徹底していく。

今後もエコアクション21に継続的に取組み、環境活動の結果を得るべく努力をしたいと考えております。

作成	作成日
環境管理責任者 木村	2023/12/20

株式会社雑用社 エコアクション21実施体制

代表者 木下 洋介

環境管理責任者 木村 修斗

電気削減責任者 木下 洋介

燃費向上責任者 小倉 諒

水削減、清掃責任者 藤田 一行

ガス削減責任者 角田 正彦

資源リサイクル責任者 江副雄一

環境経営システム 役割・責任・権限表	
	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な。人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。 ・経営における課題とチャンスの明確化。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境目標・環境活動計画書を作成。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境活動レポートの作成。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・従業員への周知 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施。
燃費向上責任者	・エコ整備の実施 ・従業員に対するエコ運転教育の実施 ・車両毎の月々の燃費を集計する。
電気削減責任者	・従業員に対する電気削減の啓蒙活動。 ・月々の電気の使用量を集計する。
ガス削減責任者	・従業員に対するガス削減の啓蒙活動。 ・月々のガスの使用量を集計する。
水削減責任者	・従業員に対する水削減の啓蒙活動。 ・月々の水の使用量を集計する。 ・月に1度の水道メーターのチェックを実施。
清掃責任者	・社内、会社周りの清掃活動を従業員に指導する。 ・月に1度の清掃活動を実施。
資源リサイクル責任者	・資源リサイクルの促進 ・リサイクルした資源の総量データを集計
全従業員	・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・環境経営システムの自主参加